

国際業務の 窓辺から

CLAIR 経験者からの
メッセージ

働き方の原点 ～クレア勤務から 23 年～



高知県観光振興部国際観光課長 小西 繁雄

平成6年、入庁4年目だった私は、阪神タイガースのキャンプ地であった高知県安芸市の安芸土木事務所に、契約・経理業務と毎晩の酒盛り明け暮らしていました。そんな折、突然人事課にニューヨーク勤務を薦められました。

当時の私かというと、それまで一度も日本から出たことはなく、英語はおろか、パスポートも持っていませんでした。しかし上司の勧めもあり、新しい事に挑戦してみたいという思いから、軽い気持ちで承諾しました。こうして私は高知県で第1号のクレア派遣者として送り出されました。

時を同じくして、平成7年は日本野球界の伝説、野茂英雄がドジャースに渡りメジャーリーグで大活躍した年でもありました。彼の未知の世界に飛び込む雄姿に勇気づけられたものです。

ニューヨーク勤務では、本当にたくさんのカルチャーショックを経験しました。月並みですが、アメリカ人の自己主張の強さに圧倒されました。サンドイッチ一つをとっても、パンや具材をすべて自分好みにカスタマイズしていく姿勢は、当時の私にとってはとても新鮮に映りましたし、多種多様な選択肢があり自らの意思を追求していくわがままにも思える強さを感じました。業務で特に思い出深いのは、オレゴン州政府で国立公園や自然保護政策について現地調査するインターンシップを経験したことです。小さな街にホームステイし、毎日フィールドワークに汗をながしました。

帰国後は、国際交流課などを経て、7年後に次は、高知県シンガポール事務所に派遣され、ここでは貿易振興業務に携わりました。現在は国際観光課で、外国人観光客を飛躍的に伸ばしていくために、台湾や香港などでの観光プロモーション活動を展開するとともに、今や日本を代表する祭りとなった「よさこい」を世界に広げてい

く業務に奮闘しています。

初めての海外赴任から早いもので23年の年月が過ぎました。これまでに高知県からは12名がクレアに派遣され、それぞれが得た経験を活かし、外国人観光客の誘致や貿易振興など、様々な部署で活躍しています。

クレアで培った経験や出会った方々から受けた刺激は、私の人生においての働き方や考え方に大きな影響を与え、貴重な財産となりました。まさか、こんなに自分自身が国際畑を歩んでいくとは夢にも思っていませんでした。

2度の海外勤務は、人生の岐路になり、また、仕事の進め方においても私に大きな刺激を与えました。特に強く感じたことは、「百聞は一見にしかず」。他言語・異文化の方々とコミュニケーションを取るには、Face to Faceでの対応と自分の目で確かめる重要性を痛感しました。自ら足を運び直接見聞きすることは、語学力や観察力を補うことができると実感しました。また、自ら選び決定する意思の強さが必要であることも学びました。これからもクレアでの経験を糧に職務に取り組んでいかねばと考えています。



よさこいアンバサダー(ドイツ)



ツーリズムエキスポにて(東京)

プロフィール

- 現職：
高知県観光振興部国際観光課 課長
- 業務内容：
国際観光の推進・よさこいを活用したプロモーション
- クレア時代の所属：
1994 クレア東京本部調査部調査課
1995～1996 ニューヨーク事務所 所長補佐